



# 「よいよ未来の創造」

「情熱」「絆」「感動」

発行 令和5年10月6日  
「己に厳しく 人に優しく」  
波佐見町立波佐見中学校  
校長 酒井 一男

## 道徳科研究授業

9月8日(金)に1年3組で東彼杵郡教育研究会道徳部会による道徳科の研究授業を加藤教諭が行いました。「公平か不公平かを判断するときには大切なことは何だろう」をめあてに、クロームブックを活用して協議したり、公平か不公平かを判断するときには大切なことを考え、意見を発表したりしました。授業後は、郡内の先生方で授業研究会を行いました。



## 東彼杵郡科学展・夏休み作品展

9月9日(土)・10日(日)に東彼杵町歴史文化館において科学展・夏休み作品展が開催され、郡内小・中学生の素晴らしい作品が展示されていました。小学生や中学生ならではの視点で研究に取り組んでいる作品が多く、興味深く見たり読んだりできました。郡内の優秀な作品5点が11月16・17日に開催される長崎県中学校総合文化祭に展示されます。本校からは1年1組渡邊桜子さんと1年3組松尾麗子さんの作品が出展されました。



## 栄養教諭教育実習

9月13日(水)に中央小学校で栄養教諭の教育実習を行っていた乙成泉希さんが1年2組で研究授業を行いました。技術・家庭科の森講師とTTで、給食に入っている食材を6つの食品群に分け、含まれる栄養素等について考えを深めました。



## 数学科研究授業

10月5日(木)に、長崎県教育庁義務教育課の江川係長や波佐見町教育委員会の皆様をお迎えし、長崎県ICT活用エヴァンジェリスト育成研修に参加している琴岡教諭が2年3組で研究授業を実施しました。生徒たちは、クロームブックを駆使しながら課題に協働的に取り組み、1次関数の利用に関する学習を深めました。



## 「青空に響け声援 夏より熱い私たち」(文責 教頭 江山孝則)

9月24日(日)、心地よい秋風が吹く、さわやかな秋晴れの中、第48回体育大会を開催しました。本年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行されたため、4年ぶりに来賓の皆様をお招きすることができました。地域の皆様や保護者様の声援も加わり、賑々しい大会となりました。また、地域の皆様のご意見等を参考に教育的意義等について検討し復活した入場行進と校歌斉唱、中学生らしいハツラツとした入場行進と和太鼓のリードによる雄々しい校歌斉唱は、観ている人に感動を覚えさせ、大会の空気をキュッと引き締めました。さらに、多くの方のご協力により復活したPTA種目の微笑ましいひとときは、大会に華を添えました。今や本校の風物詩である、夏休みからの準備・練習。体育大会実行委員、ブロック団長、応援リーダーを中心とした応援練習や、パネル制作実行委員によるパネル制作は、これまでの伝統が受け継がれ、今年も熱心に、主体的に、生徒たち自身で考えを出し合い、試行錯誤しながら進められました。その成果は、応援合戦や長縄をはじめとする各競技・演技、会場に堂々と設置されたパネルに如実に表れていたものと思います。来賓の皆様、地域の皆様、保護者の皆様、生徒たちの生き生きとした姿をご覧いただくとともに、心温まるご声援をいただき、誠にありがとうございました。

